

令和6年度 第3回 平塚市図書館協議会 次第

日時：令和7年3月27日（木）14時30分～16時
場所：平塚市中央図書館 3階ホール

1 開 会

(1) 会長あいさつ

2 議 事

(1) 報告事項

ア 中央図書館及び南図書館の休館期間と代替施設について … P1

イ 平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）について … P3

ウ 図書館システムの更新について … P3

(2) 今期の重点協議事項の検討

ア 学校図書館との連携 … P6

・これまでの協議のまとめ

イ 平塚市図書館全体の効果的な運営 … P6

・これまでの協議のまとめ

(3) その他

3 閉 会

【別添資料】

・平塚市図書館の情報誌「きいぷ第110号、第111号」

・パブリックコメント手続の実施結果について



平塚市図書館協議会委員名簿

令和6年6月1日から令和7年7月31日

	氏名	分野	推薦母体	就任	備考
1	しだら すすみえ 設楽 純江	学校教育関係者	平塚市立小学校長会	1期	
2	わたなべ ようこ 渡邊 容子	学校教育関係者	平塚市立中学校長会	1期	
3	もりや よしひろ 森谷 芳浩	社会教育関係者	神奈川県立図書館	2期	
4	くぼた さちこ 久保田 幸子	家庭教育の向上 に資する活動を行 う者	平塚市子ども読書活動推進協議会	3期	
5	にしだ ようへい 西田 洋平	学識経験者	東海大学	1期	
6	かつき ななこ 甲木 なな子	学識経験者	市民公募	1期	

《平塚市教育委員会》

所属・職	氏名
社会教育部長	石川 亜貴子
中央図書館長	藤田 忠義
中央図書館 管理担当長	熱田 敏男
中央図書館 奉仕担当長	仁和 佳世子
中央図書館 奉仕担当 主管	西海 豊
中央図書館 管理担当 主査	関山 弘明
中央図書館 管理担当 主査	渡邊 知也

(1) 報告事項

ア 中央図書館及び南図書館の休館期間と代替施設について

(ア) 中央図書館の休館期間と代替施設

中央図書館の休館は、令和8年7月から令和10年1月までを予定しており、そのうち、改修期間は令和8年10月から令和9年10月までとしている。開館は令和10年2月を見込む。

休館期間中の代替施設は、利用者サービスの影響を考慮し、立地関係や利便性を踏まえ、駅周辺に設置を検討する。暫定的な施設であることから民間施設を借り上げる予定としている。

(イ) 南図書館の休館期間と代替施設

令和7年2月16日から、南図書館（なぎさふれあいセンター内、1,125.95㎡）は改修工事のため休館となった。休館中はラスカ平塚6階（ラスカホール内、約188㎡）に代替施設「ひらつか 駅の図書室」を設置し、図書館サービスを継続する。なお、ラスカ平塚3階の駅前市民窓口センター内に設置の「駅前予約図書受取所」は、令和7年2月27日（木曜日）に閉所した。

<設置場所>

ラスカ平塚（平塚市宝町1-1）6階 ラスカホール内

<設置期間>

令和7年3月11日（火曜日）から令和8年6月1日（月曜日）まで（予定）

<開設時間>

平日 午前10時～午後8時

土日祝 午前10時～午後6時

休館日 月曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで）、ラスカ平塚休館日等

<業務内容>

予約図書資料の貸出・返却、利用登録、リクエスト受付、閲覧スペースの設置など

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	
南図書館	開館	工事 (休館)	開館			
中央図書館	開館		工事 (休館)	開館		

<ひらつか 駅の図書室 施設案内>

施設案内

● 場所

ラスカ平塚（平塚市宝町1-1）6階



<ひらつか 駅の図書室 現地>



イ 平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）について

（ア）平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）の策定

子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、子どもを取り巻く読書環境の変化、第4次計画の取組の課題や国・県の計画等を踏まえ、「平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）」を策定した。令和7年2月26日（水曜日）から、本市ウェブサイトで閲覧が可能なほか、主な公共施設（市庁舎本館市政情報コーナー、各公民館、各図書館、駅前市民窓口センター、市民活動センター、保健センター、青少年会館）でも閲覧できる。

<計画概要>

すべての子どもに楽しく本とふれあう機会を届けるために、子どもの読書に関わるさまざまな人が協力し、つながっていくまちづくりへの思いを、基本理念としている。

2つの基本方針に基づき、「家庭における子どもの読書活動の推進」「地域における子どもの読書活動の推進」「学校等における子どもの読書活動の推進」の3つの施策を柱として、39の具体的な取組を進める。また、子どもの読書活動を一層推進するため、3つの重点取組を設定している。

<計画期間>

令和7年度から11年度までの5年間

（イ）パブリックコメント手続の実施結果について

「平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）（素案）」について、パブリックコメント手続を実施した。実施結果は別紙のとおり。

ウ 図書館システムの更新について

図書館のカウンター業務や蔵書管理、図書館ホームページの運営等を行う図書館システムを更新した。新システムは令和7年3月11日（火曜日）から稼働している。

<図書館システム更新の目的>

- （1）スマートフォンやタブレット端末への対応
- （2）ウェブサイトから受付できるサービスの改善

<新図書館システムの主な新機能>

- （1）図書館カード代わりにスマートフォンの画面に表示するバーコードやマイナンバーカード（紐づける手続きが別途必要）が利用可能
- （2）図書館ホームページから受付できる手続きの拡充（新規の図書館カードの発行申請、未所蔵の図書のリクエスト）
- （3）デジタルアーカイブに掲載するコンテンツが大幅に充実

<平塚市図書館ホームページ「トップページ」>



<平塚市図書館ホームページ「こどものページ」>



<平塚市図書館ホームページ「ひらつかデジタルアーカイブ」>



資料の種類からさがす



第39回七夕まつり風景
1989
写真



第39回七夕まつり風景
1989
写真



第39回七夕まつり風景
1989
写真



第39回七夕まつり風景
1989



第39回七夕まつり風景
1989



第39回七夕まつり風景
1989

(2) 今期の重点協議事項の検討

ア 学校図書館との連携

(ア) これまでの協議のまとめ

公共図書館や学校図書館は、それぞれ独自に事業・サービスを行うだけでなく、お互いに連携して事業を進めることが、読書活動の推進に寄与すると考えられる。

令和5年度第3回図書館協議会では、児童・生徒に配布されたタブレット端末における「電子図書館」の活用により、読書に触れる機会を増やす取組が紹介された。図書室で本を探す必要が無く、いつでも、どこでも、すぐに読書を始めることができるのは、「電子図書館」のメリットである。また、その点での周知が不十分であり、一人でも多くの児童・生徒に活用してもらえるように、図書館と学校が連携をする必要性について協議をした。

令和6年度第1回図書館協議会では、ボランティアとの連携について取り上げた。活動拠点となる学校での活動が減少している現状の説明があり、各小・中学校では、ボランティアとの関わりに差が生じており、今後の課題とされた。

令和6年度第2回図書館協議会では、学校司書不在時の図書室利用について、取り上げた。児童・生徒がいつでも本に触れられる場の確保として、毎日開室してほしいとの意見があった一方、学校司書のいない時間帯での図書室の開放は、学校の安全管理面での懸念があるとの意見があった。学校司書が対応できなければ、代替となるボランティアが対応できるかどうかも含めて、検討課題とされた。

イ 平塚市図書館全体の効果的な運営

(ア) これまでの協議のまとめ

図書館に関わる運営の全体にわたっての内容について協議がされた。特に、窓口での体制など、図書館利用者に有益となるような点において、話し合いが行われた。

令和5年度第3回図書館協議会では、駅前予約図書受取所の利用実績を踏まえて、より多くの方が利用しやすい仕組み作りを検討した。予約図書の受取や返却など、便利なサービス提供がある一方、利用者数が予想よりも伸びていない現状においては、引き続き周知を進めていく必要性の意見があった。また、平塚駅構内に設置した返却ポストを目立たせることで、利用者に分かりやすく表示することも提案があった。

令和6年度第1回図書館協議会では、南図書館の改修工事以降の駅前予約受取所の体制、移動図書館廃止以降の公民館での受取体制などについて、話があった。